# 東京大学（駒場Ｉ）保健センター空調設備改修工事

# 図面リスト

| 図面番号 | 図　面　名 | 縮　　尺（A1） |
|---|---|---|
| － | 表紙・図面リスト | Ｎ．Ｓ |
| 特－０１ | 特記仕様書（1） | Ｎ．Ｓ |
| 特－０２ | 特記仕様書（2） | Ｎ．Ｓ |
| 特－０３ | 特記仕様書（3） | Ｎ．Ｓ |
| 特－０４ | 工事区分表 | Ｎ．Ｓ |
| Ｍ－０１ | 案内図・配置図 | Ｎ．Ｓ |
| Ｍ－０２ | 空気調和設備　機器表（1）（新設） | Ｎ．Ｓ |
| Ｍ－０３ | 空気調和設備　機器表（2）（新設） | Ｎ．Ｓ |
| Ｍ－０４ | 空気調和設備　系統図 | Ｎ．Ｓ |
| Ｍ－０５ | 空気調和設備　1階平面図（改修図） | １／１００ |
| Ｍ－０６ | 空気調和設備　2階平面図（改修図） | １／１００ |
| Ｍ－０７ | 空気調和設備　機器表（1）（撤去） | Ｎ．Ｓ |
| Ｍ－０８ | 空気調和設備　機器表（2）（撤去） | Ｎ．Ｓ |
| Ｍ－０９ | 空気調和設備　1階平面図（撤去図） | １／１００ |
| Ｍ－１０ | 空気調和設備　2階平面図（撤去図） | １／１００ |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

概要図

共通事項

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称<br>東京大学（駒場Ｉ）保健センター空調設備改修工事 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 東京大学施設部<br>部長 | 課長<br>見明 | 副課長<br>戸田 | 係長<br>黒須 | 担当<br>筋野 |
| 図面名称<br>表紙・図面リスト | 縮尺<br>S=N・S（A1） | 年度<br>Ｒ８ | 図面番号<br>－ | | | |

# 東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事

## Ⅰ 工 事 概 要

1． 工事場所　東京都目黒区駒場３－８－１（東京大学駒場団地構内）

2． 完成期限　令和　９年　３月　１９日（金曜日）

3． 建物概要

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 建　物　名　称 | | 保健センター | | | |
| 工　　種 | | 改設 | | | |
| 構　　造 | | R造 | | | |
| 階　　数 | | 地上2階 | | | |
| 建築基準法による | 建築面積(㎡) | 578 | | | |
| | 延べ面積(㎡) | 885 | | | |
| 消防法施行令別表第一の区分 | | (7) 大学 | | | |
| 改 修 面 積 （ ㎡ ） | | 740㎡ | | | |
| 備　　考 | | | | | |

4． 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

| 工事種目 ＼ 建物別及び屋外 | 工事種別 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 保健センター | | | 屋外 |
| ● 空気調和設備 | 一式 | | | |
| ○ 換気設備 | | | | |
| ○ 排煙設備 | | | | |
| ● 自動制御設備 | 一式 | | | |
| ○ 衛生器具設備 | | | | |
| ○ 給水設備 | | | | |
| ○ 排水設備 | | | | |
| ○ 給湯設備 | | | | |
| ○ 消火設備 | | | | |
| ○ ガス設備 | | | | |
| ○ 雨水利用設備 | | | | |
| ● 撤去工事 | 一式 | | | |

5． 指定部分　● 無　　○ 有　対象部分（　　）
　　指定部分工期　　年　月　日

6． 概成工期　● 無　　○ 有　令和　年　月　日（　曜日）
　（第1編1.1.2）［第1編1.1.2］

7． 設備概要（●印の付いたものを適用する）

| 方式及び種別 | 設備概要 |
|---|---|
| 空調方式<br>主要熱源機器 | ● 空冷ヒートポンプパッケージエアコン |
| 自動制御方式 | ○ 電気式　○ 電子式　○ デジタル式 |
| 給水方式 | ○ 高置タンク方式　○ |
| 排水方式 | 建物内の汚水と雑排水　（ ○ 合流式　○ 分流式 ）<br>ポンプ排水　○ 有 （ ○ 汚物 ○ 雑排水 ○ 湧水 ） ○ 無<br>排水槽　　○ 有 （計画容量　m3）　　○ 無<br>建物外放流先<br>（１）汚　水　○ 直放流下水管　（２）雑排水　○ 直放流下水管 |
| 消火設備<br>の種類 | ○ 屋内消火栓設備　○ スプリンクラー設備　○ 泡消火設備<br>○ 連結散水設備　○ 連結送水管<br>○ 不活性ガス消火設備（　　） |
| ガスの種類 | ○ 都市ガス（種別　13A　、高位発熱量　　、低位発熱量<br>供給圧力　　Pa、一般ガス導管事業者名　　）<br>○ 液化石油ガス |

※改修の場合は既存概要を示す

## Ⅱ 工 事 仕 様

1． 共通仕様

（１）東京大学工事請負契約要領別記第１号の工事請負基準、現場説明書、図面 11 枚及び
本特記仕様書 4 枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和７年版)(以下「標準仕様書」という。)
● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和７年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
● 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和７年版)(以下「標準図」という。)
● 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和７年版)(以下「文科仕様書」という。)
● 工事写真撮影要領(令和５年９月)

（２）建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、建築工事の特記仕様書は（＿＿＿）図、電気設備工事の特記仕様書は（＿＿＿）図による。

2． 特記仕様

（１）本特記仕様書の表記
１）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。
２）項目に記載の（第　編　．　．　）内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。
３）項目に記載の［第　編　．　．　］内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。
４）項目に記載の＜第　編　．　．　＞内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| ●一般共通事項 | ●適用区分 | 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。<br>● 風圧力<br>風速（Vo= 34 m/s）<br>地表面粗度区分（　　）<br>● 積雪荷重<br>建設省告示第1455号における区域　別表（　二十四　） |
| | ●電気保安技術者<br>（第1編1.3.2）<br>［第1編1.3.2］ | この工事現場に，下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。<br>項目名 ／ 電気保安技術者<br>1.第３種電気主任技術者以上の資格を有する者 ●<br>2.１級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ●<br>3.高等学校又はこれと同等以上の教育施設において，電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者 ●<br>4.旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者 ●<br>5.公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者 ●<br>6.第１種電気工事士の資格を有する者 ●<br>7.２級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ●<br>8.第２種電気工事士の資格を有する者 ○<br>9.短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者 ○<br>工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。 |
| | ●施工条件<br>（第1編1.3.3）<br>［第1編1.3.3］ | 仮設計画は監督職員及び建物管理者の承諾を得ること。<br>騒音・振動・粉塵・臭気の発生する作業は作業可能日に行うこと。<br>工事不可日・騒音不可日等は現場説明書による。<br>既存道路を通行止めとする場重作業の作業日は監督職員との協議による。<br>資材搬入等により大型車両を入構させる場合、予め監督職員と協議すること。<br>歩行者・車両等の通行に配慮し、安全管理上適切に交通誘導員を配置すること。 |
| | ●発生材の処理等<br>［第1編5.1.1～2］ | 発生材の処理は、下記による。<br>(1) 引渡しを要するもの<br>1）品　名<br>2）引渡し先<br>3）集積場所<br>4）集積方法<br>(2) 特別管理産業廃棄物<br>1）品　名<br>2）処理方法<br>(3) 現場において再利用するもの<br>1）品　名<br>2）使用場所<br>(4) 再生資源化するもの<br>1）品　名<br>(5) その他の発生材<br>1）品　名　全発生材<br>2）処理方法　関係法令に従い適切に処理 |
| | ●環境への配慮<br>（第1編1.4.1）<br>［第1編1.4.1］ | (1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。<br>(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。<br>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。<br>② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。<br>③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。<br>④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 |

●機材の品質等
（第1編1.4.2）
［第1編1.4.2］

（１）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（２）下表に機材名が記載された製造業者等は、以下に指定する事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、以下に指定する事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。
○ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
○ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
○ 安定的な供給が可能であること。
○ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
○ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
○ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

| 機材名 |
|---|
| |
| |
| |

○機材の検査等
機材の検査に伴う試験
（第1編1.4.4～5）
［第1編1.4.4～5］

監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

| 機材名 | 検査 | 試験 | 備考 |
|---|---|---|---|
| | ○ | ○ | |
| | ○ | ○ | |
| | ○ | ○ | |

●施工調査
［第1編1.5.1～4］

事前調査 ● 本工事　○ 別途
調査内容
調査項目 ● 既存資料調査
調査範囲 ○ 図示　● 本工事範囲
調査方法 ○ 図示　○

○技能士
（第1編1.5.2）
［第1編1.6.2］

下記の職種及び作業に適用する。
○ 配管（配管工事）
○ 建築板金（ダクト製作及び取付）
○ 熱絶縁施工（保温工事）
○ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット等の据付及び整備）

●施工の検査等
検査に伴う試験・立会い等
（第1編1.5.4～5）
（第1編1.5.8）
［第1編1.6.5～6］
［第1編1.6.9］

下記の施工部分は，監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。

| 施工部分 | 検査 | 立会 | 試験 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| クレーン設置前・後の舗装面の状況 | ○ | ● | ○ | |
| | ○ | ○ | ○ | |
| | ○ | ○ | ○ | |

○技術検査
（第1編1.6.2）
［第1編1.7.2］

●完成時の提出図書
（第1編1.7.1～5）
［第1編1.8.1～6］

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

| 名称 | 体裁等 |
|---|---|
| ● 完成図 | CADデータ（電子納品）及び電子データ |
| ○ 〃 | 原図 ○ A1版（　部）○ A3版（　部） |
| ○ 〃 | 複写図製本（A4版黒厚紙表紙金文字入）（　部） |
| ● 〃 | 複写図仮製本 ○ A1版（　部）● A3版（1 部） |
| ● 保全に関する資料 | ○ 紙媒体（　部）　● 電子データ |
| ● 工事写真 | ○ 紙媒体（　部）　● 電子データ |
| | |
| | |

※紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。
電子納品は次による。
（１）貸与する設計図CADデータの著作者名：文部科学省
ファイル形式：JWW
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図以外に使用しないこと。
（２）電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
（３）電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
（４）提出方法及びファイル形式は以下による。
CADデータ：JWW、DXF及びPDF
提出方法：CD又はDVDに保存し、1 部提出する。

○石綿含有建材の調査
［第1編1.5.1］
［第1編4.1.2］

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

○他工事又は他工種との取り合い

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

○電動機
（第2編1.2.1）
［第2編1.2.1］

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

●電源周波数

● ５０Hz　　○ ６０Hz

●容量等の表示

（１）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
（２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

●総合試運転調整
（第2編1.5.6）
［第2編1.6.7］

● 本工事　　○ 別途
調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）
● 風量調整　○ 水量調整　● 室内外空気の温湿度の測定
○ 室内気流及びじんあいの測定　● 騒音の測定　○ 飲料水の水質の測定
○ 雑用水の水質の測定　● 初期運転状態の記録　● 機器の絶縁測定

○足場その他
（第2編4.1.1）
［第1編2.2.1］

○ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
○ 本工事で設置する。（　　図参照）
○ 内部足場（○　種○　種）○ 外部足場（○　種○　種）
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

○埋め戻し土・盛土
（第2編4.2.1）
［第2編4.2.1］

○ 根切り土の良質土　　○ 山砂の類

以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。
○

○建設発生土の処理方法
（第2編4.2.1）
［第2編7.1.1］

○ 構内敷きならしとする。　○ 構外に搬出し、適切に処分する。

●耐震措置

設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。
（１）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の重量[kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数　A　及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

| | 機器種別 | ○ 特定の施設 | | ● 一般の施設 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 重要機器 | 一般機器 | 重要機器 | 一般機器 |
| 上層階屋上及び塔屋 | 機器 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 防振支持の機器 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| | 水槽類 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| 中間階 | 機器 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 防振支持の機器 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 水槽類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| 地階・１階 | 機器 | 1.0 | 0.6 | 0.6 | 0.4 |
| | 防振支持の機器 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 水槽類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次による。
［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］

（２）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。

○配管
（第2編第2章）
［第2編第2章］

（１）ステンレス鋼管の接合は、下記による。
○ 呼び径６０Ｓｕ以下（○ ＳＡＳ３２２を満足した継手　○　）
（２）溶接部の非破壊検査　○ 不要　　○ 要（　　）
フレキシブルジョイントを備える配管は、適正な面間寸法が保持できるよう施工し、その寸法を記録保存する。

○地中埋設標等
（第2編2.7.1～3）
［第2編2.7.1～3］

（１）地中埋設標　　○ 要（図示による）　○ 不要
（２）埋設表示テープ　○ 要（排水管を除く）　○ 不要

○絶縁継手
（第2編2.2.12）
［第2編2.4.1］

図示の位置に取り付ける。

●試験
（第2編2.9.1～5）
［第2編2.9.1～7］

既設配管を含む部分の試験 ● 要（冷媒試験圧は製造業者規定値）
○ 不要

○保温
（第2編3.1.1～6）
［第2編3.1.1～4］

標準仕様書第２編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。

○ 多湿箇所は下記による。
室名：
○ 共同構内の保温種別は下記による。
ダクト：
配管：

○塗装
（第2編3.2.1）
［第2編3.2.1］

次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。
○ 屋外：　○ ドレン管　（ ○ 指定色塗装　○　　）
○ 金属電線管（ ○ 溶融亜鉛メッキ仕上げ[付着量300ｇ/㎡以上]
○ 指定色塗装）
○ 屋内：　○ 金属電線管（ ○ 溶融亜鉛メッキ仕上げ　○ 指定色塗装）

○天井仕上区分

（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

○電線類
（第2編4.7.1）
［第2編4.7.1］

○監視・制御システムのサイバーセキュリティ

外部ネットワークと接続する制御システム
○ あり（対象設備：　　）　○ なし
外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ ファイアウォール　　○ 統合脅威管理（UTM）
盤・キャビネットの錠の鍵
○ 製造者の標準鍵
○ 鍵の指定あり
対策機器　（ ○ 監視盤　○ 自動制御盤　○　　）

●既存躯体への穿孔
［第2編6.2.1］

はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
○ 走査式埋設物調査　　● 放射線透過検査

概要図

共通事項

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 東京大学施設部 部長 / 課長 見明 / 副課長 戸田 / 係長 黒須 / 担当 筋野 | |
| 図面名称 | 特記仕様書（1） | 縮尺 S=N・S（A1） | 年度 R８ | 図面番号 特-01 |

## ● 空気調和設備

**●設計温湿度**

| | 外気 | | 屋内 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 一般系統 | | 一般系統 | | 個別系統 | | | |
| | 温度 | 湿度 | 温度 | 湿度 | 温度 | 湿度 | 温度 | 湿度 |
| 夏季 | 34.8℃ | 58.0% | 26.0℃ | 成行 | ℃ | % | ℃ | % |
| 冬季 | 1.7℃ | 41.7% | 22.0℃ | 成行 | ℃ | % | ℃ | % |

**○鋼板製煙道**
（第3編1.1.2）
［第3編1.1.1］

鋼板厚（ ○３．２mm ○４．５mm）

**○ダクト**
（第3編1.14.1 ～5）
［第3編1.1.1］

○ 低圧ダクト（ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
　　　　　　　 ○ アングルフランジ工法　　　　）
○ スパイラルダクト（　○ 低圧　 ○　　　　　）
○ 高圧１ダクト（範囲は図示による。）
○ 塩化ビニルライニング鋼板製ダクト
　JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
　製作及び取付は公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編2.2.2~3「アングルフランジ工法ダクト」、「コーナーボルト工法ダクト」の当該事項による。ただし、ダクト補強において、補強リブ加工及びスポット溶接は行ってはならない。
○ ステンレス鋼板製ダクト（ ○ ステンレス鋼（SUS 304）製支持材）
　JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
　○ 長方形ダクト
　　○ SUS A ダクト
　　　材料を全てステンレス製とし、他の材料は公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」による。
　　○ SUS B ダクト
　　　材料で、ダクトの内側で内部空気に接する鋼板、リベット等をステンレス製とし、他の材料は公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」による。
　　板厚は、JIS A 4009による。
○ 硬質塩化ビニル製ダクト
　JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
　○ 長方形ダクト
　　板厚は、JIS A 4009による。

長方形ダクトの吊り金物及び支持金物　単位 mm

| ダクトの長辺 | 棒鋼吊り金物 | | | 支持金物 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 山形鋼寸法 | 棒鋼 | 最大間隔 | 山形鋼寸法 | 最大間隔 |
| 500以下 | 30x30x3 | 呼び径9 | 4,000 | 30x30x3 | 4,000 |
| 500を越え1,000以下 | 40x40x3 | 呼び径9 | 4,000 | 40x40x3 | 4,000 |
| 1,000を越え1,500以下 | 40x40x3 | 呼び径9 | 3,000 | 40x40x3 | 3,000 |
| 1,500を超え2,000以下 | 40x40x5 | 呼び径9 | 3,000 | 40x40x5 | 3,000 |

　○ 円形ダクト
　　板厚は、JIS K 6741（硬質ポリ塩化ビニル管）によるVU管とする。
　　接続は、冷間工法による差込接合又は熱風溶接による当て板を用いた突合わせ接合とし必要に応じ以下によるフランジ接合とする。

円形ダクト接合材料　単位 mm

| ダクトの長辺 | 接合用フランジ | 接合用ボルト | |
|---|---|---|---|
| | 硬質塩化ビニル製アングル最小寸法 | ねじの最小呼び径 | 最大間隔 |
| 400以下 | 40x40x5 | M8(M10) | 75 |
| 400を越え500以下 | 50x50x5 | M8(M10) | 75 |

　　注　接合用ボルト（　）内は、硬質塩化ビニル製ボルトの場合を示す。
　　支柱による内部補強は、接合用フランジの片側のみとし、取付座を設けて、呼び径50mmのVU管を溶接するか呼び径25mm のVU管に、呼び径15Aの鋼管を挿入したものをボルトにより、フランジと共に締め付け補強をする。

円形ダクトの吊り金物及び支持金物　単位 mm

| ダクトの長辺 | 棒鋼吊り金物 | | | 支持金物 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 平鋼寸 | 棒鋼 | 最大間隔 | 形鋼寸法 | 最大間隔 |
| 300以下 | 30x3 | 呼び径9（1本吊り） | 4,000 | 30x30x3 | 4,000 |
| 300を越え500以下 | 40x3 | 呼び径9（2本吊り） | 4,000 | 40x40x3 | 4,000 |

○ グラスウール製ダクト（長方形ダクト）
　JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
　最大風速13m/s 以下で、長辺の長さが2,000mm 以下の低圧ダクトに適用する。また、ダクト内温度は70℃以下、ダクト周辺温度は-30℃から70℃の範囲とする。ただし、排煙ダクト、厨房など火気使用室の排気ダクト、及び多湿箇所には使用しない。

長方形ダクトの吊り金物及び支持　単位 mm

| 補強材 | 最大間隔 |
|---|---|
| なし | 2,400 |
| あり | 2,000 |

　　注1　支持材料は、軽量形鋼50×25×5×0.5t以上とする。
　　　2　吊り鋼棒は、呼び径9mm とする。
○ 塩ビライニング鋼板製スパイラルダクト
　直管は、JIS A 4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.4「スパイラルダクト」による。
　継手は、両面にポリ塩化ビニル（塩化ビニル樹脂）を塗布したものとする。
　製作及び取付は、公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編2.2.2~3「スパイラルダクト」に準ずる。ただし、ダクトの接合に用いるスクリュービスはステンレス製とする。
○ ステンレス製スパイラルダクト
　直管は、JIS A 4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.4「スパイラルダクト」による。
　継手は、JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）によるSUS 304を用いてはぜ継ぎ又は溶接したものとする。
　製作及び取付は、公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編2.2.2~3「スパイラルダクト」に準ずる。ただし、ダクトの接合に用いるスクリュービスはステンレス製とする。

**○チャンバー**
（第3編1.14.4）
［第3編1.2.1］

（１）内貼を施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（２）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。
（３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバーは雨水の滞留のないように施工する。

**○ダンパー**
（第3編1.15.6 ～14）
［第3編1.1.1］

（１）防煙ダンパー　　復帰方式 遠隔復帰式(定格入力DC24V)
（２）ピストンダンパー　復帰方式 遠隔式

**●配管材料及び記号**
（第2編2.1.1 ～2）
［第2編2.1.1］

配管材料及び記号は（○ 下記による。● 図示による。）

（１）蒸気管　給気管　○ 黒管（JIS G 3452）
　　　　　　　　　　 ○ 黒管 Sch40（JIS G 3454）
　　　　　　　　　　 ○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3448）
　　　　　　　　　　 ○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3459）
　　　　　　還管　　 ○ 黒管 Sch40（JIS G 3454）
　　　　　　　　　　 ○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3448）
　　　　　　　　　　 ○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3459）
（２）油管　　　　○
（３）冷温水管　　○
（４）冷却水管　　○
（５）ドレン管　　○
（６）冷媒管　　　○
（７）高温水管　送り ○ 送り　─/─ H ─/─ H ─/─
　　　　　　　還り ○ 還り　─/─ HR ─/─ HR ─/─　　※破線としてもよい。
（８）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管
　　○

**○弁類**
（第2編2.2.1 ～6）
［第2編2.1.1］

○ 図面に特記なき場合の耐圧は、ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ とする。
○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
○ ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往･還）には、ボール弁を取付ける。
○

**●保温及び消音内貼**
（第2編3.1.1 ～2）
［第2編3.1.1］
［第2編3.1.3］

標準仕様書第２編３．１．４によるほか、次による。

○ 蒸気還り管の保温不要（屋内露出は除く。）
○ 還気ダクトの保温要（保温の厚さ２５mm、範囲は図示による。）
○ 外気ダクトの保温要（保温の厚さ２５mm、範囲は図示による。）
○ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。
○ 建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は除く。）
○ 暗渠内（ピット内を含む）の空調用ドレン管は保温（　○ 有 ○ 無 ）とする。
○ **冷媒管の保温外装は次による。**
　○ 図示による
　○ 屋内露出箇所（　　　　　　　　　）
　○ 屋外露出箇所（　　　　　　　　　）

**○塩化ビニル製送風機・強化プラスチック製送風機**

（１）遠心送風機
　① ケーシングは、硬質塩化ビニル板（JIS K 6745）又は繊維強化プラスチック（FRP:ガラス繊維強化プラスチック、FRTP：ガラス繊維強化熱可塑性プラスチック）等耐食性に優れた材料により製作され、風圧に対して十分な強度を有するように鋼板、形鋼、硬質塩化ビニル製又は繊維強化プラスチック製アングルにて外部から補強したものとする。また、ケーシング下部には必要に応じ水抜きを設ける。
　② 羽根は、硬質塩化ビニル板（JIS K 6745）又は繊維強化プラスチック（FRP:ガラス繊維強化プラスチック、FRTP：ガラス繊維強化熱可塑性プラスチック）等耐食性に優れた材料により成型製作され、高速運転に耐えるものとする。
　③ 羽根車のハブ部品及び主板部分は必要に応じ、金属材料で補強し、金属部は耐食材料で被覆する。
　④ 軸はJIS G 4051（機械構造用炭素鋼鋼材）によるS30C以上又は特殊鋼製とし、接ガス部は耐食材料で被覆する。軸受けはラジアル及びスラスト型とし、荷重に耐えられるものとし、長時間の連続運転に耐えるものとする。
（２）軸流送風機
　前記遠心送風機に準じて製作するものとする。

## ○ 換気設備

**○ダクト**
（第3編1.14.1 ～5）
［第3編1.1.1］

○ 低圧ダクト（ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
　　　　　　　 ○ アングルフランジ工法　　　　）
○ スパイラルダクト（　○ 低圧　 ○　　　　　）
○ 高圧１ダクト（範囲は図示による。）
○ 厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第３編１．１４．１～５のダクトの板厚の項より１番手厚いものとする。（範囲は図示による。）

**○ダンパー**
（第3編1.15.6）～14）
［第3編1.1.1］

空気調和設備の当該項目による。

**○シールする排気ダクトの系統**

○ 厨房系統
○ 浴室（シャワー室、脱衣所を含む）
○

**○チャンバー**
（第3編1.14.6）
［第3編1.1.1］

空気調和設備の当該項目による。

**○保温**
（第2編3.1.4）
［第2編3.1.4］

○ 全熱交換ユニット用の外気取入れダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。
○ 全熱交換ユニット用の排気用ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。
○ 厨房の隠ぺい部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。
○ 湯沸室の隠ぺい部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。

## ○ 排煙設備

**○ダクト**
（第3編1.14.1）
［第3編1.1.1］

○ 亜鉛鉄板　　○ 普通鋼板（厚１．６mm）

**○排煙口の形式**

○ パネル形　（ ○ 天井取付　　○ 壁取付）
○ スリット形（ ○ 天井取付　　○ 壁取付）
○ ダンパー形（ ○ 天井内取付　○　　　　）

**○排煙口開放及び復帰方式**

○ 電気式（遠隔操作 ○ 要　○ 不要）
　排煙口から手動解放装置への配線は、標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による耐熱・耐火ケーブルとする。

**○排煙風量測定**

建築設備定期検査業務基準書 ２０２３年版（(一財)日本建築設備･昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

## ● 自動制御設備

**●システム構成その他**

別図による。

**●電気計装用配線**
（第4編1.5.1）
［第4編1.1.1］

屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。

## ○ 衛生器具設備

**○自動洗浄装置及びその組み込み小便器**

○ 個別感知フラッシュ方式（ ○ ＡＣ電源　○ 自己発電）

**○自動水栓の電源種別**
（第5編1.1.7）
［第5編1.1.1］

○ ＡＣ電源
○ 自己発電

**○衛生器具ユニット**
（第5編1.1.3）
［第5編1.1.1］

別図による。

## ○ 給水設備

**○配管材料**
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（　○ 下記による。　○ 図示による。）
（１）一般配管　　○
　　　　　　　　　○
（２）地中配管　　○
　　　　　　　　　○
（３）水道直結配管 ○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設配管は（ ○　　　　）とし、他の部分は（１）による。

**○量水器**
（第2編2.2.16）
［第2編2.1.1］

○ 親ﾒｰﾀｰ　（ ○ 現地表示式（直読式）○ 遠隔表示式（ ○ 電文式　○ ﾊﾟﾙｽ式））
　　　　　（ ○ 貸与品　　○　　　　）
○ 子ﾒｰﾀｰ　（ ○ 現地表示式（直読式）○ 遠隔表示式（ ○ 電文式　○ ﾊﾟﾙｽ式））
　　　　　（ ○ 買取り　　○　　　　）

**○量水器桝**
（第5編1.8.4）
［第5編1.1.1］

○ 水道事業者指定品　（ ○ 貸与品 ○ 買取り）　○ 標準図ＭＣ形

**○弁類**
（第2編2.2.1 ～6）
［第2編2.2.1］

○ 図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。
○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
○ 水道直結部分の耐圧は、１０Ｋとする。

**○水栓柱**
（第2編2.2.23）
［第2編2.1.1］

○

**○管の地中埋設深さ**
（第2編2.7.2）
［第2編2.7.2］

埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、
　車両通行部分は（ ○６００mm ○　　　mm）
　その他の部分は（ ○３００mm ○　　　mm）以上とする。

**○建築物導入部**

○ 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領 ）による。
　（ ○（ａ） ○（ｂ） ○（ｃ））
○ 別図による。

**○引込納付金等**

○ 要（ ○ 本工事（納付金を含まない。）○ 別途）
○ 不要

## ○ 排水設備

**○ 配管材料及び記号**
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料及び記号は（○ 下記による。　○ 図示による。）
（１）屋内　雑排水管（合流）　　　○
　　　　　雑排水管(給湯室系統)　○
　　　　　汚水管　　　　　　　　○
　　　　　通気管　　　　　　　　○
　　　　　ﾎﾟﾝﾌﾟｱｯﾌﾟ管　　　　　○
　　　　　実験排水管　　　　　　○ SGP-PB(JWWA K 132)
　　　　　　　　　　　　　　　　　+ポリ粉体鋼管継手(JPF DF 001)
　　　　　　　　　　　　　　　　○ 塩ビ管(JSWAS K-1)
　　　　　　　　　　　　　　　　　── P ── P ──
　　　　　　　　　　　　　　　　　※鋳鉄管は　─(── P ─(──
（２）屋外　第一桝まで　　　　　　○
　　　　　桝間　　　　　　　　　○
※実験排水とは、下水道法、水質汚濁防止法でいう特定施設からの実験洗浄排水をいう。

**○台所流し等排水管**

洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
台所流し等の床上露出部分の配管は、塩ビ管（ＲＦ－ＶＰ）とする。
大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、塩ビ管（ＲＦ－ＶＰ）とする。

**○満水試験継手**

図示の位置に取り付ける。

**○ガソリントラップ**

○ 鋳鉄製　○ ステンレス鋼板製　○

**○Uトラップ**

○ 鋳鉄製（JPF DF 001）　○

**○流しトラップ**

本体　　　○ 鋳鉄製（JCW-202）　○ ステンレス製　○
バケット　○ 黄銅製　○ ステンレス（SUS304）製　○
ストレーナ ○ 黄銅製ニッケルークロムめっき仕上げ　○

**○放流納付金等**

○ 要（ ○ 本工事（　　　　　　） ○ 別途）
○ 不要

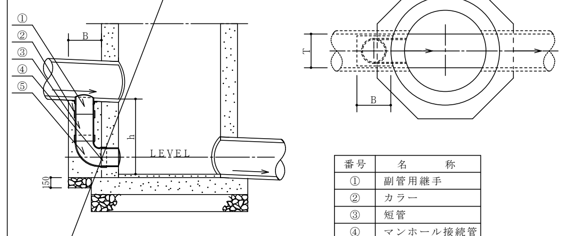
**○屋外土中配管**

屋外土中埋設に使用する下水道用硬質塩化ビニル管の接合は、ゴム輪接合とし、施工方法は、JSWAS K-1（下水道用硬質塩化ビニル管）の参考資料による。
なお、マンホール副管及び呼び径150以下の配管については、接着接合としてもよい。
また、管をコンクリート造のます等に接続する場合には、マンホール継手を使用し、樹脂製接着剤又はモルタルを充填する。なお、硬質塩化ビニルますに接続する場合は、塩ビ管用接着剤により接合する。

**○マンホール副管**

副管は、流入管きょと流出管きょとの段差が0.6m以上の場合に設けることとし、その仕様は以下による。

（ａ）中間マンホール



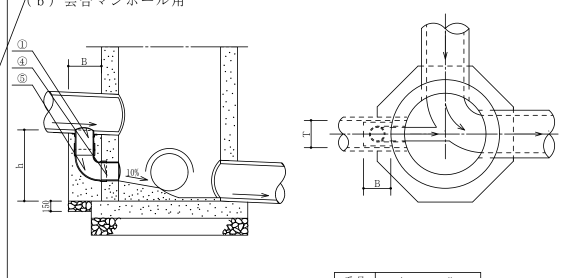

（単位:mm）

| 本管径 | B | T | 副管径 |
|---|---|---|---|
| 150φ | 250 | 300 | 100 |
| 200φ | 300 | 350 | 150 |

| 番号 | 名称 |
|---|---|
| ① | 副管用継手 |
| ② | カラー |
| ③ | 短管 |
| ④ | マンホール接続管 |
| ⑤ | ９０度曲管 |

注　h寸法によっては、②③を除いて寸法調整を行っても良い。

（ｂ）会合マンホール用




（単位:mm）

| 本管径 | B | T | 副管径 |
|---|---|---|---|
| 150φ | 250 | 300 | 100 |
| 200φ | 300 | 350 | 150 |

| 番号 | 名称 |
|---|---|
| ① | 副管用継手 |
| ④ | マンホール接続管 |
| ⑤ | ９０度曲管 |

注　h寸法によっては、(ａ)中間マンホールの②③を用いて寸法調整をしても良い。

概要図

共通事項

| 工事名称 | 東京大学（駒場Ｉ）保健センター空調設備改修工事 |
|---|---|
| 図面名称 | 特記仕様書 (2) |
| 縮尺 | S=N・S (A1) |
| 年度 | Ｒ８ |
| 図面番号 | 特-02 |

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO　東京大学施設部　部長　課長 見明　副課長 戸田　係長 黒須　担当 筋野

## ○ 給湯設備

**○配管材料**
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○ 下記による。　○ 図示による。）
○

**○弁類**
（第2編2.2.1～6）
［第2編2.2.1］

○ 図示による。（特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。）
○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。

**○保温**
（第2編3.1.5）
［第2編3.1.4］

湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第２編 ３．１．５表２．３．５のｈ・ア・Ⅸとする。

## ○ 消火設備

**○配管材料**
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○ 下記による。　○ 図示による。）
（１）屋内消火栓　一般配管　○
　　地中配管　○
（２）連結送水管　一般配管　○
　　地中配管　○
（３）　○

**○屋内消火栓 種別**
（第5編1.5.2）
［第5編1.2.1］

○ 易操作性１号消火栓
○ ２号消火栓
○ 広範囲型２号消火栓

**○屋内消火栓 開閉弁**
（第5編1.5.2）
［第5編1.2.1］

○ １０Ｋ

**○地中埋設 配管の接合**

外面被覆鋼管の呼び径１００Ａ以下はねじ接合とする。

**○建築物導入部**

建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。
（○（ａ）　○（ｂ）　○（ｃ））

**○保温**
（第2編3.1.5）
［第2編3.1.4］

○ 屋外露出部分 ○ 有（ ○ ｅ２・ウ・Ⅶ　○　　）
　　○ 無

**○不活性ガス 消火設備**
（第5編1.5.6）
［第5編1.2.3］

別図による。

**○泡消火設備**
（第5編1.5.8）

別図による。

## ○ ガス設備

**○配管材料**
（第6編2.1.1）
［第6編2.1.1］
（第6編3.1.1）

配管材料は（ ○ 下記による。　○ 図示による。）
○ 都市ガス　　一般ガス導管事業者の供給規定による。
○ 液化石油ガス

**○メーター**
（第6編2.1.7）
［第6編2.1.1］

○ 親ﾒｰﾀｰ　（ ○ 実測式　○ パルス式　）（ ○ 貸与品　○　　）
○ 子ﾒｰﾀｰ　（ ○ 実測式　○ パルス式　）（ ○ 買取り　○　　）

**○ガス漏れ 警報器**
（第6編2.1.3）
［第6編2.1.1］

○ 本工事（図示による）　　○ 別途工事
外部警報端子（ ○ 無　○ 有　）

## ○ 特殊ガス等設備工事（医療ガス設備工事）

**○一般事項**
（第11編1.1.1～3）

（１）ガスの種別及び配管の記号は、下記による。
○ 酸素　—$O_2$—$O_2$—
○ 亜酸化窒素（笑気）　—$N_2O$—$N_2O$—
○ 治療用空気　—A—A—
○ 二酸化炭素　—$CO_2$—$CO_2$—
○ 吸引（ ○ 水封式　○ 油回転式）　—V—V—
○ 麻酔ガス排除（排ガス）　—EX—EX—
○ 圧縮空気（○ 治療用　○ 機器駆動用）　—SA—SA—
○ 窒素　（ ○ 高純度　○ 一般）　—$N_2$—$N_2$—

（２）機器及び材料の記号は、下記による。
① 壁取付け形アウトレット
○ 酸素　$O_2$
○ 亜酸化窒素（笑気）　$N_2O$
○ 治療用空気　A
○ 二酸化炭素　$CO_2$
○ 吸引　V
○ 麻酔ガス排除（排ガス）　EX
○ 窒素　$N_2$

※天井つり下げ型はC、天井リール型はRを書き加える。

② シーリングコラム
○ ⊠（$O_2$、$N_2O$、A、$CO_2$、V、EX、$N_2$）
※必要なアウトレットの記号を書き加える。

③ 区域別シャットオフバルブ
○ —⋈—

**○機材**
（第11編2.1.1～3）

**○施工**
（第11編2.2.1～2.3.1）

## ○ 特殊ガス等設備工事（医療ガス設備工事以外）

**○一般事項**
＜第2編1.1.1～2＞

（１）ガスの種別及び配管の記号は、医療ガス等設備工事（医療ガス設備工事）一般事項１）によるほか、下記による。
○ ヘリウムガス（ ○ 高純度　○ 一般）　—He—He—
○ 水素ガス　（ ○ 高純度　○ 一般）　—$H_2$—$H_2$—
○ アルゴンガス（ ○ 高純度　○ 一般）　—Ar—Ar—
○ 圧縮空気　（ ○ 高純度　○ 一般　○ 圧縮空気機）　—A—A—

**○機材**
＜第2編2.1.1～2.4.3＞

**○施工**
＜第2編3.1.1～3.2.8＞

## ○ 雨水利用設備

**○システム 構成その他**

別図による

**○配管材料**
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○ 下記による。　○ 図示による。）
（１）一般配管　○
（２）集水管　○

**○量水器**
（第2編2.2.16）
［第2編2.1.1］

○ 遠隔表示式（パルス式）　○ 現地表示式（直読式）

**○弁類**
（第5編1.9.1）
［第6編1.1.1］

○ 図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。

## ○ さく井設備

**○事前調査**
（第7編1.2.1）

下記の項目について事前調査を行う。
○ 揚水井
　○ 既設井分布調査
　○ 法的規制調査
　○ 地表探査
　（探査方法：電気探査の比例抵抗法）
　（測定方式：直流型方式）
　（解析方法：標準曲線法）
○ 地中熱交換井
　○ 既設井分布調査
　○ 法的規制調査
　○ 地質情報の収集、整理
　○ 代表井による熱交換効率の把握
　（熱応答試験方法：　　）
　○ 周辺環境調査（騒音・振動測定）

**○掘削**
（第7編2.1.1）
（第7編3.1.1）

掘削工法は下記による。
○ パーカッション式
○ ロータリー式
○ ダウンザホールハンマ式
○ 回転振動式
○ ロータリーパーカッション式

**○試験**
（第7編3.2.1）

地中熱交換器挿入完了後の水圧試験は下記による。

概要図

共通事項

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 部長 | 課長 見明 | 副課長 戸田 |
| | | | | 係長 黒須 | 担当 筋野 |
| 図面名称 | 特記仕様書（3） | 縮尺 S=N・S（A1） | 年度 Ｒ８ | 図面番号 特-03 | |

工事区分表

1．●印の付いたものを適用する。
2．●が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

| 項目 名称 | 区分 摘要 | 建築 | 電気 | 機械 | 土木 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート穴あけ | 梁、壁本製型枠入 | ● | | | | 墨出し、補修除く |
| 〃 | 壁スリーブ入れ | ● | ● | ● | | ボイド等 |
| 〃 | 床スラブ本製型枠入 | ● | | | | 墨出し、補修除く |
| 〃 | 床スラブスリーブ入れ | ● | ● | ● | | ボイド等 |
| 同上開口部補強 | 鉄筋切断及び補強筋入れ | ● | | | | |
| 配管ダクト類の防水貫通部補修 | | ● | | ● | | |
| ＡＬＣパネルの穴あけ、補修 | ダクト等の貫通部 | ● | | | | |
| ＰＣ版の穴あけ | スリーブ入れ | ● | | | | |
| 同上補修 | | ● | ● | ● | | モルタル充てん等 |
| インサート | ＰＣ版 | ● | | | | |
| インサート | コンクリート床 | ● | ● | ● | | |
| 天井点検口 | 点検口取付及び、開口部補強 | ● | | | | ボード切込、墨出し共 |
| 軽量鉄骨下地開口部墨出し | 電気設備関係開口部 | | ● | | | 照明器具等 |
| 〃 | 機械設備関係開口部 | | | ● | | 空調機器等 |
| 軽量鉄骨下地開口部補強 | 天井及び壁、ボード切開 | ● | | | | 照明器具、空調機器等 |
| 開口補強を必要としないボード等の切開 | | ● | | | | ボード切込、墨出等 |
| 特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工 | | ● | | | | 石、金属パネル等 |
| 盤等重量物の下地補強 | 露出形器具取付用 | ● | | | | |
| 床点検口 | 点検口取付及び、開口部補強 | ● | | | | 墨出し共 |
| 防火区画貫通部補修 | | ● | ● | ● | | モルタル充てん等 |
| 機器・配管取付後の壁、床等の補修 | | ● | | | | |
| 流し台、ミニキッチン | ステンレス製（含む排水金具） | ● | | | | 水切り板、同穴開け共 |
| 本体、水切 | | | | | | |
| 同上用配管接続 | 給排水用 | | | ● | | |
| 流し台 | 陶器製 | | | ● | | |
| 洗面器等取付化粧板 | | ● | | | | |
| ルーフドレン | | ● | | | | |
| 竪樋 | 防露工事共 | ● | | | | 第１桝までの配管共 |
| 雨水排水管 | 第１桝から排水幹線までの配管 | ● | | | | 第１桝を含む※ |
| 〃 | 幹線の配管 | ● | | | | |
| 生活排水、実験排水管 | 建物及び第１桝までの配管 | | | ● | | 第１桝までの配管共 |
| 〃 | 第１桝から排水幹線までの配管 | ● | | ● | ● | 第１桝を含む※ |
| 〃 | 幹線の配管 | ● | | ● | ● | |
| 大型機械基礎 | | ● | | | | |
| 同上基礎上鉄骨架台 | | | ● | ● | | |
| 機器用アンカーボルト | ボイラ等機械設備関係機器 | | | ● | | 墨出し、型枠入れ共 |
| 〃 | 自家発電機等電気設備関係機器 | | ● | | | 墨出し、型枠入れ共 |
| 一般機器類の基礎 | 仕上げ共 | | | | | |
| 屋外自立盤の基礎 | 仕上げ共 | | | | | |
| 屋外貯油槽 | 地下式 | | | ● | | |
| 共同溝 | 歩床コンクリート | | | | ● | |
| 建物、共同溝接続トレンチ | | ● | | | | |
| 同上接続部止水板 | | ● | | | ● | |
| 各種槽類 | コンクリート製 | ● | | | | |
| 〃 | ＳＵＳ、ＦＲＰ、鋼製 | | | ● | | |
| 〃 | 屋外大型のものの基礎 | ● | | | | |
| 〃 | 屋上設置のものの基礎 | ● | | | | |
| 換気扇取付 | ダクトのあるもの | | | ● | | 天井扇等 |
| 〃 | 壁、サッシ等への取付（材共） | | | ● | | フード取付共 |
| 同上用スイッチ | | | ● | ● | | |
| 同上用電源配線 | | | ● | | | 接続共 |
| 同上用枠、取付板等 | 木製、アルミ製、鉄製 | ● | | | | |
| 全熱交換器 | | | | ● | | |
| 同上用スイッチ | | | | ● | | |
| 外壁取付ガラリ | 給排気用 | ● | | | | シーリング撤去・再充填 |
| 内壁取付ガラリ | | ● | | | | 遮光ガラリ共 |
| ガラリへの給排気ダクト接続 | | | | ● | | |
| 煙感知器連動防火戸 | | ● | | | | |
| 同上用レリーズ | 配管配線、ボックス共 | | ● | | | |
| 同上用煙感知器 | リレー及びリレーまでの配管配線共 | | ● | | | |
| 排煙防火ダンパー | リレー取付まで① | | | ● | | |
| 煙感知器連動シャッター | リレー取付まで② | ● | | | | |
| 煙感知器連動防煙垂れ壁 | リレー取付まで③ | ● | | | | |
| 上記①～③用煙感知器 | リレーまでの配管配線共 | | ● | | | |

| 項目 名称 | 区分 摘要 | 建築 | 電気 | 機械 | 土木 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 道路側溝用排水 | Ｌ型・Ｕ型と管敷設 | ● | | | ● | |
| 制御盤 | 制御盤以降の配管、配線共 | | ● | ● | | |
| 同上用電源配線 | １次側接続まで | | ● | | | 接地共 |
| 屋内消火栓 | 消火ポンプ、制御盤 | | | ● | | |
| 屋内消火栓起動リレー | | | ● | | | |
| 同上表示灯及び起動装置 | | | ● | ● | | |
| 自動火災報知器 | | | ● | | | |
| 連結送水口 | 座板共 | | | ● | | |
| 独立煙突 | | ● | | | | |
| 同上煙道 | 鋼板製 | | | ● | | |
| 同上雷保護設備 | | | ● | | | |
| 配管配線用ピット | | ● | | | | |
| 盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口 | フリーアクセスフロア等 | ● | | | | |
| コンクリートシャフト点検口 | | ● | | | | |
| 天井フック | | ● | | | | |
| 機械室、電気室の防音遮音処理 | | ● | | | | |
| 特殊サイズ鏡 | | ● | | | | |
| 化粧用洗面器、鏡 | 化粧カウンターは除く | | | ● | | |
| 雷保護設備 | | | ● | | | |
| 保守管理用タラップ、はしご | | ● | | | | 屋上 |
| 室内テレビ用吊金物 | | ● | | | | |
| テレビアンテナ | 取付共 | | ● | | | |
| 同上用基礎 | | ● | | | | |
| グリストラップ及び | コンクリート製 | ● | | ● | | ※ |
| ガソリントラップ | ステンレス鋼板製 | | | ● | | |
| 電動シャッターの配管配線 | 二次側、操作盤、押釦取付共 | ● | | | | |
| 同上用電源配線 | 一次側接続まで | | ● | | | |
| 自動扉の配管配線 | 二次側 | ● | ● | | | |
| 同上用電源配線 | 一次側接続まで | | ● | | | |
| 電気錠操作盤 | 読取装置共 | ● | | | | |
| 同上配管配線 | | | ● | | | |
| 電気錠 | 配管配線、接続ボックスまで | ● | | | | |
| 同上配管配線 | 操作盤～接続ボックスまで | | ● | | | 接続共 |
| 中央監視装置本体 | 関係機器、関係機器間配線を含む | | ● | ● | | |
| 同上用電源配線 | 一次側接続まで | | ● | | | |
| 同上用信号線 | 各メーターから装置まで | | ● | ● | | 接続共 |
| ユニットバス本体 | 据付共 | ● | | | | |
| 同上用電源配線 | 一次側接続まで。ＳＷの取付配線共 | | ● | | | |
| 同上用配管 | 接続まで | | | ● | | |
| 冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装 | 現場製作 | ● | | | | |
| 同上用電源配線 | 一次側接続まで | | ● | | | |
| 同上用照明・コンセント | 電源配管配線、接続ボックス共 | | ● | | | |
| 同上用配管 | 接続まで | | | ● | | |
| 冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装 | プレハブ型 | ● | | | | |
| 同上用電源配線 | 一次側接続まで | | ● | | | |
| 同上用照明・コンセント | 電源配管配線、接続ボックス共 | ● | | ● | | |
| 同上用配管 | 接続まで | | | ● | | |
| 芝生、種子吹付け | | ● | | | ● | |
| 法枠、モルタル吹付け | | ● | | | ● | |
| コンクリート擁壁 | | ● | | | ● | |
| 植栽 | | ● | | | | |

| 項目 名称 | 区分 摘要 | 建築 | 電気 | 機械 | エレベーター | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 昇降機関連 昇降機設備本体 | 三方枠、同取付後の壁補修まで（トロ詰め） | | | | ● | |
| 同上用機械室 | 天井フック、床シンダーコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共 | ● | | | | |
| 同上用監視盤 | | | | | ● | |
| 同上換気扇取付 | | | | | ● | |
| 機械室換気扇取付 | サーモ、スイッチ共 | | ● | ● | | ※ |
| 各種信号用制御線 | 停電用、火災用等 | | ● | | ● | ※ |
| 三方枠周囲の壁仕上 | | ● | | | | |
| 各階出入口用開口 | 敷居取付持出し共 | ● | | | | |
| 昇降路内中間ビーム設置 | | ● | | | ● | ※ |
| ピット内防水 | | ● | | | | |
| 動力、照明要電源、接地引き込み | | | ● | | | |
| コンセント設置 | ピット内、機械室内 | | ● | | | |
| インターホン配線 | シャフト外、監視盤～制御盤 | | ● | | | |
| | シャフト内、制御盤内接続共 | | | | ● | |
| 非常放送用スピーカー | | | ● | | ● | ※ |
| 同上用配線 | シャフト外、ＡＭＰ～制御盤 | | ● | | | |
| | シャフト内、制御盤内接続共 | | | | ● | |
| 監視カメラ | | | ● | | ● | ※ |
| 同上用配線 | シャフト外、監視制御装置～制御盤 | | ● | | | |
| | シャフト内、制御盤内接続共 | | | | ● | |
| 点検用タラップ | ピット内 | | | | ● | |

| 項目 名称 | 区分 摘要 | 建築 | 電気 | 機械 | エスカレーター | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| エスカレーター設備 搬入口、据え付け用穴明け、同復旧 | | ● | | | | |
| フレーム受け用枠 | | ● | | | | |
| 吊込穴、フック、復旧工事 | | ● | | | | |
| 転落防止柵、網、仕切り板 | | ● | | | | |
| 三角ガード | | ● | | | ● | ※ |
| 天井目地、床、回り仕上げ | | ● | | | | |
| スプリンクラー等 | | | | ● | | |
| 防火シャッター | | ● | | | | |
| 床部照明工事 | | | | | ● | |
| 下部機械室耐火構造及び防水工事 | | ● | | | | |
| 機械室受電盤までの動力線、電灯線、接地線の配管配線 | | | ● | | | |
| 点検用電源の機械室までの引き込み配管配線 | | | ● | | | |
| シャッター及びエスカレーター電気インターロック用接点の供給及び配管配線工事（必要な場合） | | | | ● | | |
| 監視盤との信号用配管配線工事 | | | ● | | | |

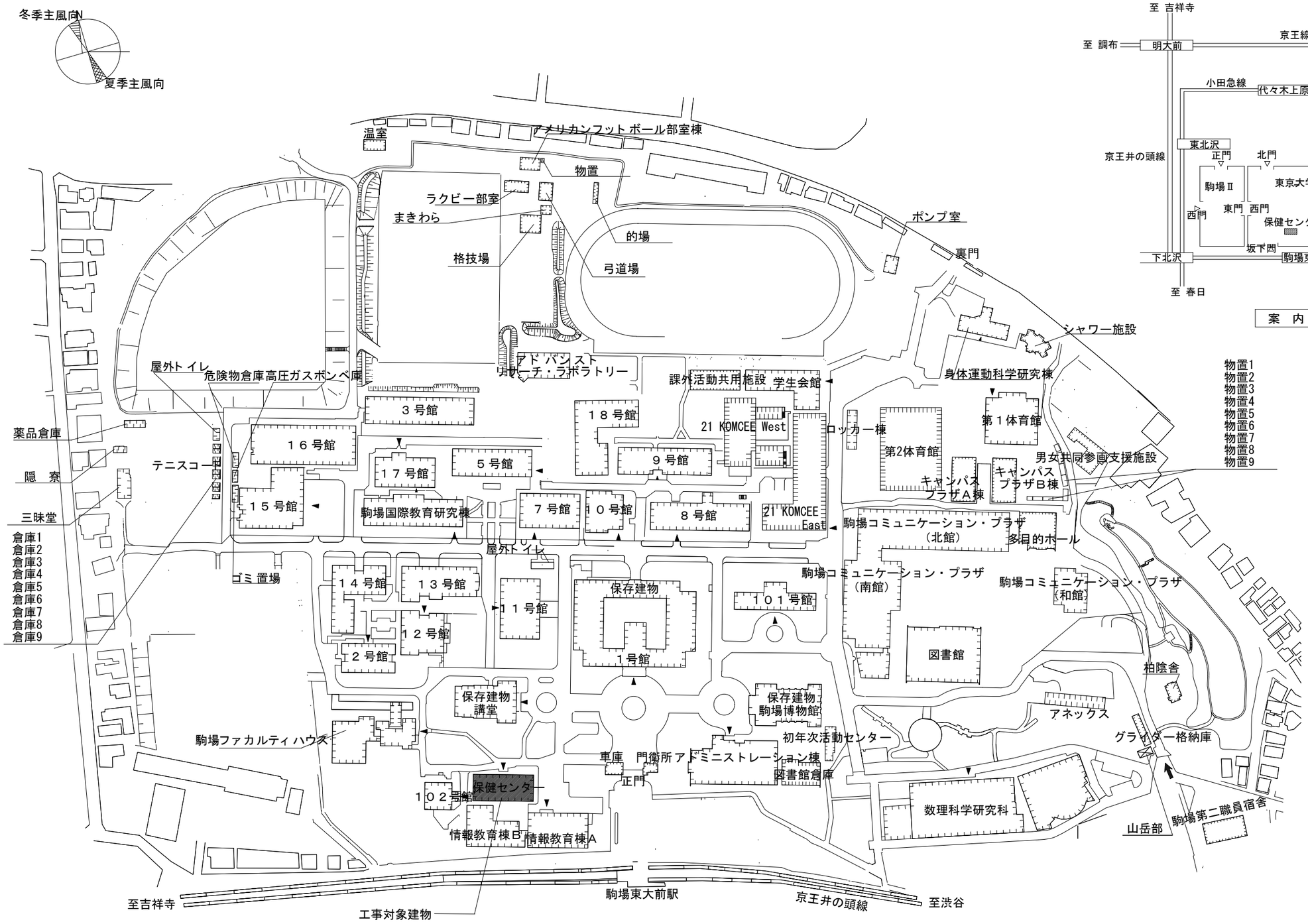
| 項目 名称 | 区分 摘要 | 建築 | 電気 | 機械 | クレーン | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| クレーン設備 走行レール、ストッパー | | ● | | | ● | ※ |
| クレーン点検台及びはしご | | ● | | | | |
| 走行用給電装置 | | | | | ● | |
| 電気工事（電源盤以降２次側） | | | | | ● | |

| 項目 名称 | 区分 摘要 | 建築 | 電気 | 機械 | 建築（土木） | 学部 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 机、椅子、棚 | | | | | | | その他の経費 |
| 連結椅子 | | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| ＯＡ机、ラック | | | | | | | その他の経費 |
| 教壇、教卓 | | | | | | | その他の経費 |
| 作業台 | | | | | | | その他の経費 |
| 実験台（配管等工事あり） | | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| 実験台 | | | | | | | その他の経費 |
| 黒（白）板、掲示板 | | | | | | | 一般工事費 |
| 電動スクリーン | | | | | | | 一般附帯設備費 |
| 暗幕 | | | | | | | その他の経費 |
| スライディングウォール | | | | | | | 一般工事費 |
| ローパーティション | | | | | | | その他の経費 |
| カウンター | （形態による） | | | | | | その他の経費 |
| ガス台 | | | | | | | 特殊工事費 |
| 応接セット | | | | | | | その他の経費 |
| ベッド | | | | | | | その他の経費 |
| 吊り戸棚 | | | | | | | 一般附帯設備費 |
| サイン、案内板 | | | | | | | 一般附帯設備費 |
| ブラインド | | | | | | | 一般附帯設備費 |
| カーテン | | | | | | | その他の経費 |
| 消火器 | | | | | | | その他の経費 |
| 書架、書庫 | | | | | | | その他の経費 |
| 積層書架 | （面積計上） | | | | | | 一般附帯設備費 |
| 集密書架 | | | | | | | その他の経費 |
| 展示パネル、展示ケース | | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| 展示パネル、展示ケース | | | | | | | その他の経費 |
| テレビ、ビデオ | | | | | | | その他の経費 |
| 視聴覚機器、ＯＨＰ、プロジェクタ | | | | | | | その他の経費 |
| 冷蔵庫、冷凍庫 | | | | | | | その他の経費 |
| 低温室 | | | | | | | 特殊工事費 |
| ストーブ、除湿器 | | | | | | | その他の経費 |
| 空調機、ＦＦ暖房機 | | | | | | | 一般・特殊工事費 |
| ウォータークーラー | | | | | | | その他の経費 |
| 蛍光灯スタンド | | | | | | | その他の経費 |
| 電話機 | | | | | | | その他の経費 |
| 放送設備（建物全体に係る） | | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| 放送設備 | | | | | | | その他の経費 |
| テレビ共聴設備 | | | | | | | 一般工事費 |
| 湯沸し器 | | | | | | | 一般附帯設備費 |
| 入退室管理システム、監視カメラ | | | | | | | 特殊工事費 |
| 入退室管理システム、監視カメラ | | | | | | | その他の経費 |
| ブックディテクションシステム | | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| ブックディテクションシステム | | | | | | | その他の経費 |
| ドラフトチャンバー | | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| クリーンベンチ、安全キャビネット | （配管等あり） | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| クリーンベンチ、安全キャビネット | （配管等なし） | | | | | | その他の経費 |
| オートクレーブ | | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| オートクレーブ | | | | | | | その他の経費 |
| 飼育ゲージ、水槽 | | | | | | | 特殊工事 |
| 飼育ゲージ、水槽 | | | | | | | その他の経費 |
| 純水製造装置 | | | | | | | その他の経費 |
| 薬品棚 | | | | | | | その他の経費 |
| 厨房機器 | | | | | | | その他の経費 |
| 舞台照明・音響・映像・機構設備 | （屋内運動場は対象外） | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| 舞台照明・音響・映像・機構設備 | | | | | | | その他の経費 |
| 舞台幕類 | | | | | | | その他の経費 |
| 水質自動監視装置 | | | | | | | 特殊附帯設備費 |
| 水質自動監視装置 | | | | | | | その他の経費 |

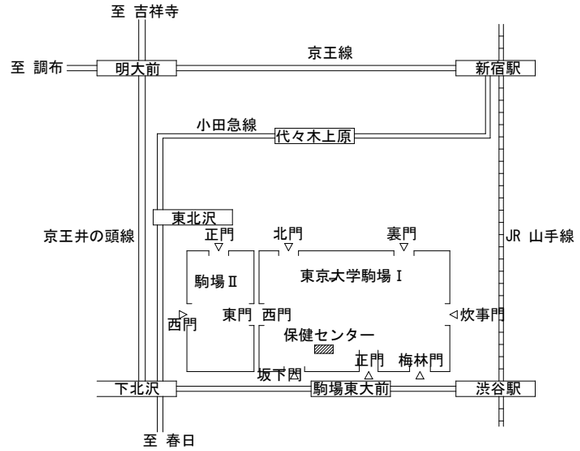
概要図

共通事項

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 東京大学施設部 部長 / 課長 見明 / 副課長 戸田 / 係長 / 体長 黒須 / 担当 筋野 |
| 図面名称 | 工事区分表 | 縮尺 S=N・S（A1） | 年度 R８ / 図面番号 特-04 |




配　置　図




案　内　図

# 概要図

| 共通事項 | 工事名称 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 東京大学施設部 部長 / 課長 見明 / 計課長 戸田 / 係長 黒須 / 担当 筋野 | | | |
| | 図面名称 配置図・案内図 | 縮尺 S=N・S（A1） | 年度 R８ | 図面番号 M-01 | | |

# 新設　空調機器表（1）

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 φ | 電源 V | 電源 kW | 電源 起動 | 設置場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ACM-1-1 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 2 | | | | | 1F 内科診察室 | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | 休養室1・2 | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.130 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-2 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F 薬局 | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-3 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F 事務室 | |
| | | 冷房能力　4.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-4 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F 健康管理室 | |
| | | 冷房能力　4.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-5 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F 健康管理室 | |
| | | 冷房能力　4.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-6 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F 検査室 | |
| | | 冷房能力　2.8 kw | | | | | | 面談室 | |
| | | 暖房能力　3.2 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1 | 空調機（室外） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ室外機 | 1 | | | | | 屋上 | |
| | | 冷房能力　33.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　37.5 kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 7.92 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.270 | | | |
| ACP-1-1 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F サーバー室 | |
| | | 冷房能力　7.1 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　8.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.106 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACP-1 | 空調機（室外） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ室外機 | 1 | | | | | 屋上 | |
| | | 冷房能力　7.1 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　8.0 kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 1.29 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.110 | | | |

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 φ | 電源 V | 電源 kW | 電源 起動 | 設置場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ACM-2-1 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 1 | | | | | 1F 待合ホール | |
| | | 冷房能力　14.0 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　16.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.300 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-2-2 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 1 | | | | | 1F ホール | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.130 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-2-3 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F ホール | |
| | | 冷房能力　4.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-2 | 空調機（室外） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ室外機 | 1 | | | | | 屋上 | |
| | | 冷房能力　28.0 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　31.5 kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 6.91 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.270 | | | |
| ACM-3-1 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 2 | | | | | 2F 会議室 | |
| | | 冷房能力　7.1 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　8.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.230 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-2 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F ﾍﾙｽｹｱﾙｰﾑ | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-3 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 医師控室(1) | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-4 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 医師控室(2) | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-5 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 更衣室 | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-6 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 小会議室 | |
| | | 冷房能力　4.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | 圧縮機 | | | | | | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |

※特記事項
1．機器能力値は定格値とする。
2．冷媒はオゾン層破壊係数０のものとする。
3．電源周波数は５０Ｈｚとする。
4．室外機電源容量は、参考値とする。
5．圧縮機は屋外形とする。
6．室内機はドレンアップメカを附属品とする。室内機フィルターは標準品とする。
7．機器用及び配管基礎等は既存再利用とする。
8．室内機は防振吊金具仕様とし、室外機は防振ゴムパッド仕様とする。

概要図

共通事項

工事名称
東京大学（駒場Ｉ）保健センター空調設備改修工事

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

| 部長 | 課長 | 副課長 | | 係長 | 担当 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 見明 | 戸田 | | 黒須 | 筋野 |

図面名称
空気調和設備　機器表（1）（新設）

縮尺
S=N・S（A1）

年度
R８

図面番号
M-02

# 新設　空調機器表 (2)

| 記号 | 名 称 | 仕 様 | 台数 | 電源 φ | 電源 V | 電源 kW | 電源 起動 | 設置場所 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ACM-3-7 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 精神科 | |
| | | 冷房能力　2.8　kw | | | | | | 診察室(2) | |
| | | 暖房能力　3.2　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-3-8 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 精神科 | |
| | | 冷房能力　2.8　kw | | | | | | 診察室(1) | |
| | | 暖房能力　3.2　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-3 | 空調機（室外） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ室外機 | 1 | | | | | 屋上 | |
| | | 冷房能力　33.5　kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　37.5　kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 7.92 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.270 | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-1 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 1 | | | | | 1F 整形外科 | |
| | | 冷房能力　5.6　kw | | | | | | ・皮膚科診察室 | |
| | | 暖房能力　6.3　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.130 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-2 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F 看護師控室 | |
| | | 冷房能力　2.8　kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　3.2　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-3 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F 第一X線 | |
| | | 冷房能力　3.6　kw | | | | | | 撮影室 | |
| | | 暖房能力　4.0　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-4 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F 暗室 | |
| | | 冷房能力　2.2　kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-5 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 1F 操作室 | |
| | | 冷房能力　2.2　kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-6 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 1 | | | | | 1F 第二X線 | |
| | | 冷房能力　5.6　kw | | | | | | 撮影室 | |
| | | 暖房能力　6.3　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.130 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-7 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 医師控室 | |
| | | 冷房能力　3.6　kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　4.0　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |

| 記号 | 名 称 | 仕 様 | 台数 | 電源 φ | 電源 V | 電源 kW | 電源 起動 | 設置場所 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ACM-4-8 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F ﾍﾙｽｷｰﾊﾟｰ | |
| | | 冷房能力　2.2　kw | | | | | | 控室 | |
| | | 暖房能力　2.5　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-9 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 歯科診察室 | |
| | | 冷房能力　4.5　kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-10 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 職員控室 | |
| | | 冷房能力　3.6　kw | | | | | | ・受付 | |
| | | 暖房能力　4.0　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-11 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 待合室 | |
| | | 冷房能力　4.5　kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | | | | | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4-12 | 空調機（室内） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型（2方向） | 1 | | | | | 2F 精神科 | |
| | | 冷房能力　2.2　kw | | | | | | 衛生室 | |
| | | 暖房能力　2.5　kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.046 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ACM-4 | 空調機（室外） | 型　式 空冷ヒートポンプパッケージ室外機 | 1 | | | | | 屋上 | |
| | | 冷房能力　40.0　kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　45.0　kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 9.16 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.370 | | | |

※特記事項
1．機器能力値は定格値とする。
2．冷媒はオゾン層破壊係数０のものとする。
3．電源周波数は５０Ｈｚとする。
4．室外機電源容量は、参考値とする。
5．圧縮機は屋外形とする。
6．室内機はドレンアップメカを附属品とする。室内機フィルターは標準品とする。
7．機器用及び配管基礎等は既存再利用とする。
8．室内機は防振吊金具仕様とし、室外機は防振ゴムパッド仕様とする。

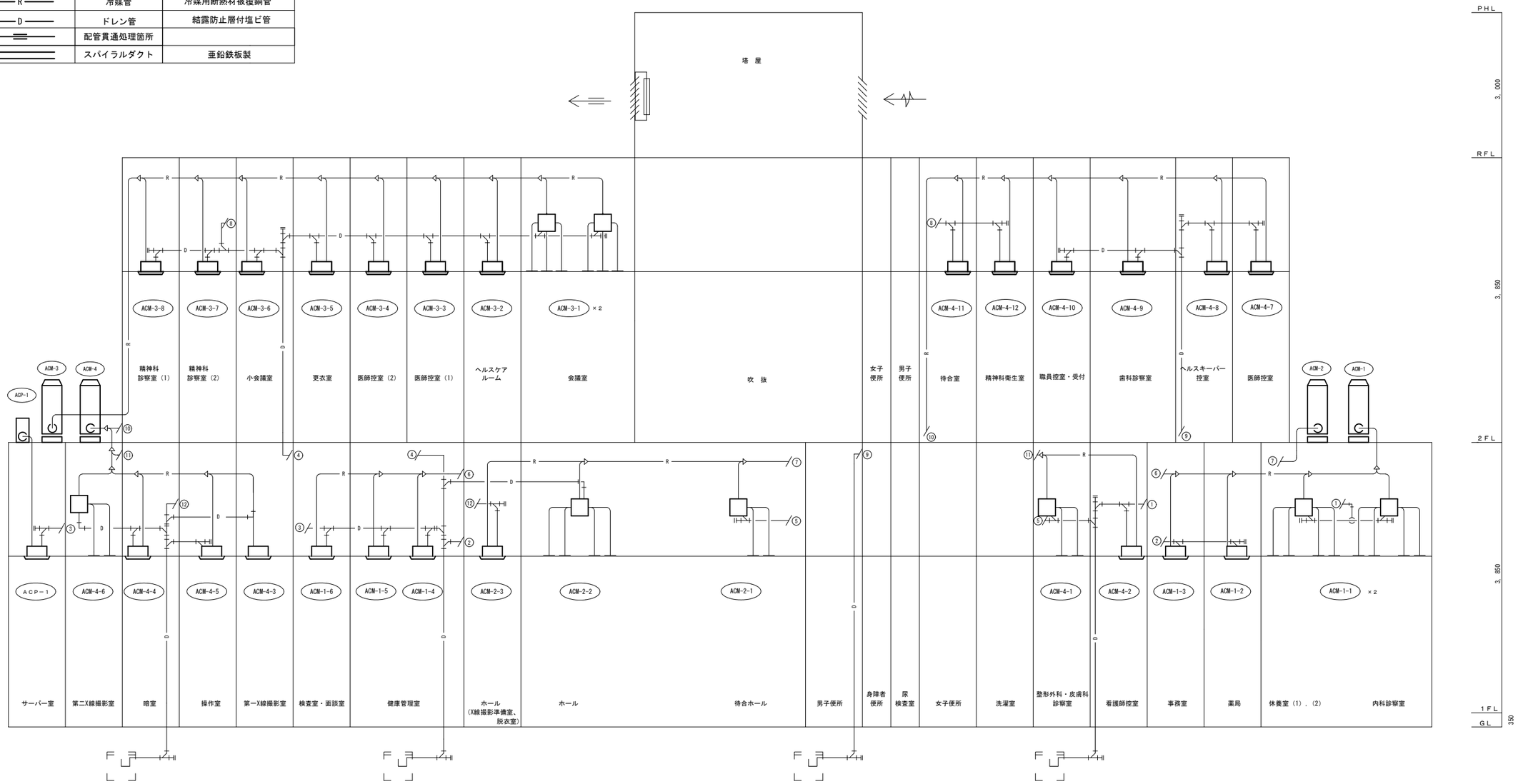
概要図

共通事項

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 工事名称 | 東京大学（駒場Ｉ）保健センター空調設備改修工事 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 東京大学施設部　部長　課長（見明）　副課長（戸田）　係長（黒須）　担当（筋野） | |
| 図面名称 | 空気調和設備　機器表 (2)（新設） | 縮尺 S＝N・S (A1) | 年度 Ｒ８ | 図面番号 M-03 |

凡例

| 記号 | 名称 | 仕様 |
|---|---|---|
| ——R—— | 冷媒管 | 冷媒用断熱材被覆銅管 |
| ——D—— | ドレン管 | 結露防止層付塩ビ管 |
| ——═—— | 配管貫通処理箇所 | |
| ═══ | スパイラルダクト | 亜鉛鉄板製 |



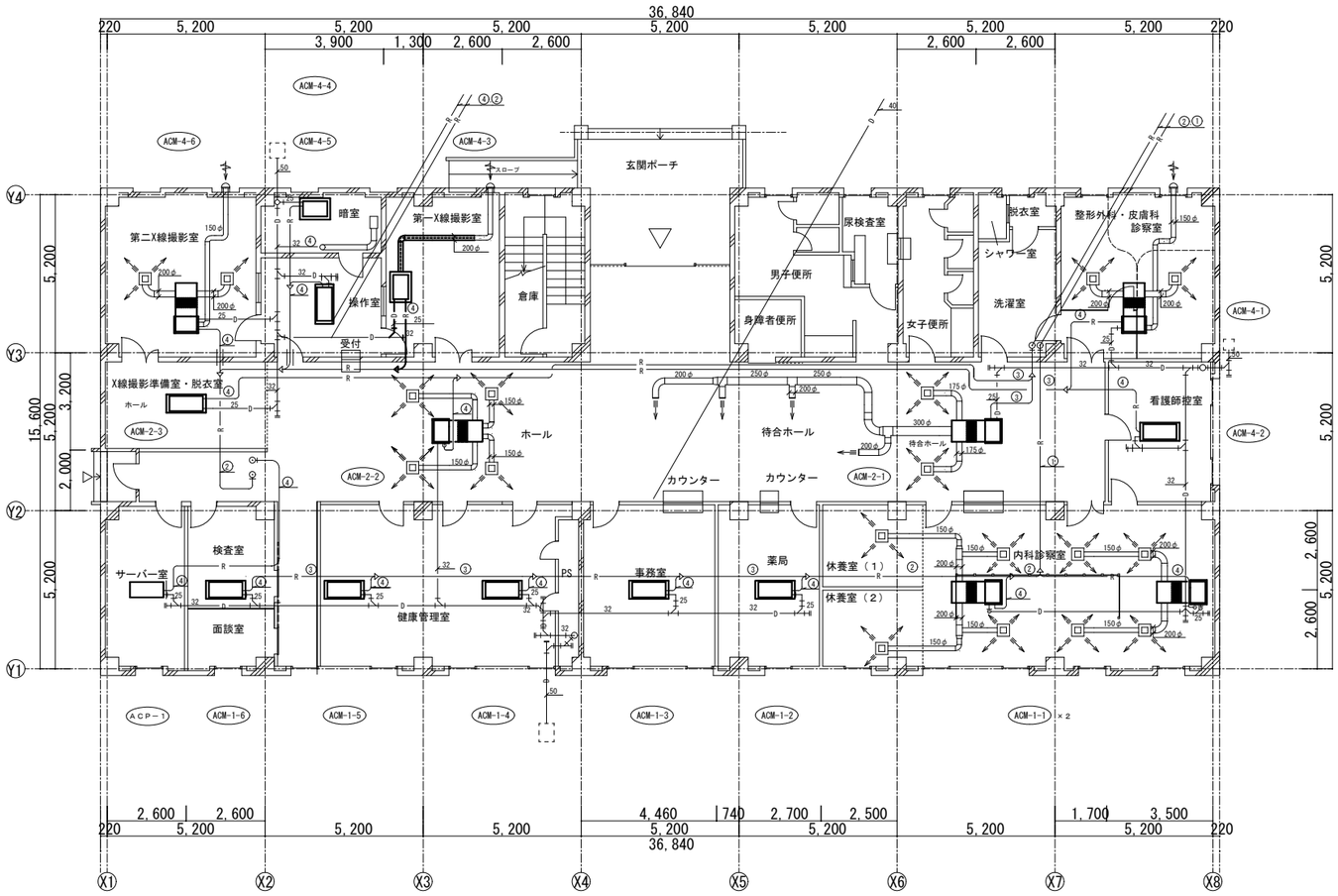

空 調 系 統 図

注１）太線は更新対象を、細線は既設を示す。
　２） 新設室内機の空調ドレン管は最寄りの既設空調ドレン管に接続する。
　３） ビルトイン型室内機は最寄りの既設ダクトに接続する。

# 概要図

| 共通事項 | 工事名称 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 東京大学施設部 部長 / 課長 見明 / 副課長 戸田 / 係長 黒須 / 担当 筋野 |
|---|---|---|---|
| | 東京大学（駒場Ｉ）保健センター空調設備改修工事 | | |
| | 図面名称 空気調和設備　系統図 | 縮尺 S=N・S（A1） | 年度 Ｒ８ / 図面番号 M-04 |

| 冷媒配管・電気ケーブル | | | |
|---|---|---|---|
| 記号 | 液管 | ガス管 | 備考 |
| ① | 12.7φ | 25.4φ | EM-CEE-S 2□-2C(冷媒管共巻) |
| ② | 9.5φ | 22.2φ | EM-CEE-S 2□-2C(冷媒管共巻) |
| ③ | 9.5φ | 15.9φ | EM-CEE-S 2□-2C(冷媒管共巻) |
| ④ | 6.4φ | 12.7φ | EM-CEE-S 2□-2C(冷媒管共巻) |
| ⑤ | ― | ― | EM-CEE-S 2□-2C (G16) |



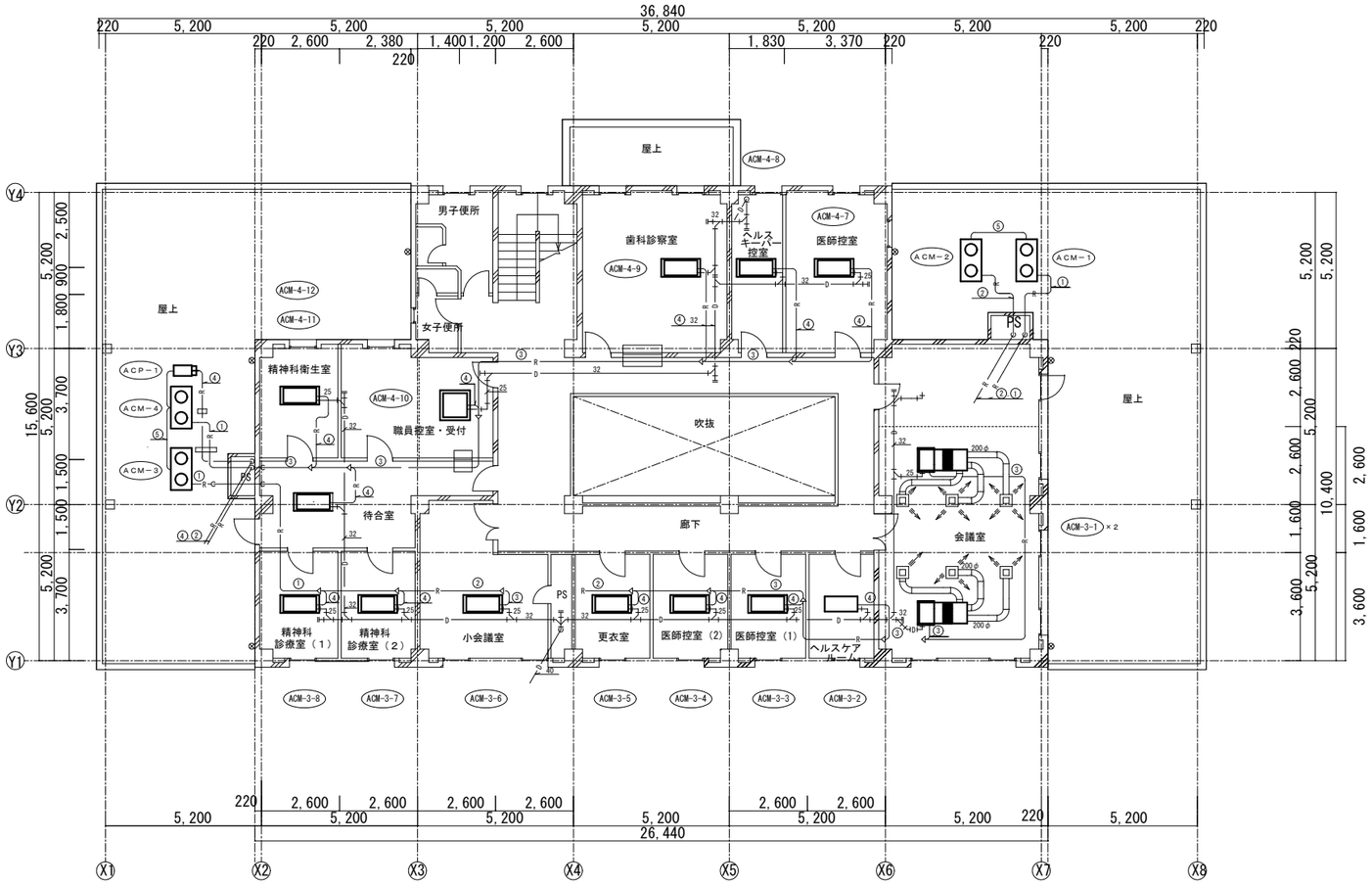

1階平面図　S=1/100

注1）太線は更新対象を、細線は既設を示す。
2）新設室内機の空調ドレン管は最寄りの既設空調ドレン管に接続する。
3）ビルトイン型室内機は最寄りの既設ダクトに接続する。
4）室内機のリモコンスイッチ・電源ケーブル及び制御ケーブルは既設ボックス及び配管・配線を再利用する。
5）施工範囲の室内について、必要な養生を行うこと。
6）天井解体・復旧作業は別途建築工事とする。

概要図

| 共通事項 | 工事名称 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 東京大学施設部 部長 / 課長 見明 / 副課長 戸田 / 係長 黒須 / 担当 筋野 |
|---|---|---|---|
| | 東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事 | | |
| | 図面名称 空気調和設備　1階平面図（改修図） | 縮尺 S=1/100（A1） | 年度 R８ / 図面番号 M-05 |

| 冷媒配管・電気ケーブル | | | |
|---|---|---|---|
| 記号 | 液管 | ガス管 | 備考 |
| ① | 12.7φ | 25.4φ | EM-CEE-S 2□-2C(冷媒管共巻) |
| ② | 9.5φ | 22.2φ | EM-CEE-S 2□-2C(冷媒管共巻) |
| ③ | 9.5φ | 15.9φ | EM-CEE-S 2□-2C(冷媒管共巻) |
| ④ | 6.4φ | 12.7φ | EM-CEE-S 2□-2C(冷媒管共巻) |
| ⑤ | ― | ― | EM-CEE-S 2□-2C (G16) |




２階平面図　S=1/100

注１）太線は更新対象を、細線は既設を示す。
２）　新設室内機の空調ドレン管は最寄りの既設空調ドレン管に接続する。
３）　ビルトイン型室内機は最寄りの既設ダクトに接続する。
４）室内機のリモコンスイッチ・電源ケーブル及び制御ケーブルは
既設ボックス及び配管・配線を再利用する。
５）　施工範囲の室内について、必要な養生を行うこと。
６）天井解体・復旧作業は別途建築工事とする。

概要図

| 共通事項 | 工事名称 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 東京大学施設部 部長 / 課長 見明 / 副課長 戸田 / 係長 黒須 / 担当 筋野 |
|---|---|---|---|
| | 東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事 | | |
| | 図面名称 空気調和設備　2階平面図（改修図） | 縮尺 S＝1/100（A1） | 年度 R８ / 図面番号 M-06 |

## 撤去　空調機器表（1）

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 φ | 電源 V | 電源 kW | 電源 起動 | 設置場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ACM-1-1 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 2 | | | | | 1F 内科診療室 | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | 休養室1・2 | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.085 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-2 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F 薬局 | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.020 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-3 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F 事務室 | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.020 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-4 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F 健康管理室 | |
| | | 冷房能力　4.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.020 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-5 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F 健康管理室 | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.020 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1-6 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F 検査室 | |
| | | 冷房能力　2.8 kw | | | | | | 面談室 | |
| | | 暖房能力　3.2 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.015 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-1 | 空調機（室外） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ室外機 | 1 | | | | | 屋上 | 型式：RXYP335A |
| | | 冷房能力　33.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　37.5 kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 7.8 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.750 | | | |
| ACP-1-1 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F サーバー室 | |
| | | 冷房能力　7.1 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　8.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.056 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACP-1 | 空調機（室外） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ室外機 | 1 | | | | | 屋上 | 型式：RZYP80KT |
| | | 冷房能力　7.1 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　8.0 kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 1.70 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.070 | | | |

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 φ | 電源 V | 電源 kW | 電源 起動 | 設置場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ACM-2-1 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 1 | | | | | 1F 待合ホール | |
| | | 冷房能力　14.0 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　16.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.270 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-2-2 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 1 | | | | | 1F ホール | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.085 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-2-3 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F ホール | |
| | | 冷房能力　4.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　8.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.020 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-2 | 空調機（室外） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ室外機 | 1 | | | | | 屋上 | 型式：RXYP280A |
| | | 冷房能力　28.0 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　31.5 kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 5.90 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.750 | | | |
| ACM-3-1 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 2 | | | | | 2F 会議室 | |
| | | 冷房能力　7.1 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　8.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.125 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-2 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F ﾍﾙｽｹｱﾙｰﾑ | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.010 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-3 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 医師控室(1) | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.010 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-4 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 医師控室(2) | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.010 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-5 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 更衣室 | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.010 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-6 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 小会議室 | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | 1 | 200 | 0.050 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | | | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |

概要図

共通事項

工事名称
東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事

図面名称
空気調和設備　機器表（1）（撤去）

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

| 部長 | 課長 | 副課長 | | 係長 | 担当 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 見明 | 戸田 | | 黒須 | 筋野 |

縮尺 S=N・S（A1）
年度 R８
図面番号 M-07

# 撤去　空調機器表（2）

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 φ | 電源 V | 電源 kW | 電源 起動 | 設置場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ACM-3-7 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 精神科 | |
| | | 冷房能力　2.8 kw | | | | | | 診察室(2) | |
| | | 暖房能力　3.2 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.015 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3-8 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 精神科 | |
| | | 冷房能力　2.8 kw | | | | | | 診察室(1) | |
| | | 暖房能力　3.2 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.015 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-3 | 空調機（室外） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ室内機 | 1 | | | | | 屋上 | 型式：RXYP335A |
| | | 冷房能力　33.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　37.5 kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 7.80 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.750 | | | |
| ACM-4-1 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 1 | | | | | 1F 整形外科 | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | ・皮膚科診察室 | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.085 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-2 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F 看護師控室 | |
| | | 冷房能力　3.6 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　4.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.015 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-3 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 1 | | | | | 1F 第一X線 | |
| | | 冷房能力　3.6 kw | | | | | | 撮影室 | |
| | | 暖房能力　4.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.050 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-4 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F 暗室 | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.035 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-5 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 1F 操作室 | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.010 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-6 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井ビルトイン型 | 1 | | | | | 1F 第二X線 | |
| | | 冷房能力　5.6 kw | | | | | | 撮影室 | |
| | | 暖房能力　6.3 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.085 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-7 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 医師控室 | |
| | | 冷房能力　3.6 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　4.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.015 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 φ | 電源 V | 電源 kW | 電源 起動 | 設置場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ACM-4-8 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F ﾍﾙｽｷｰﾊﾟｰ | |
| | | 冷房能力　2.8 kw | | | | | | 控室 | |
| | | 暖房能力　3.2 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.015 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-9 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 歯科診察室 | |
| | | 冷房能力　4.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.020 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-10 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 職員控室 | |
| | | 冷房能力　3.6 kw | | | | | | ・受付 | |
| | | 暖房能力　4.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.056 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-11 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 待合室 | |
| | | 冷房能力　4.5 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　5.0 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.020 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4-12 | 空調機（室内） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ天井カセット型 | 1 | | | | | 2F 精神科 | |
| | | 冷房能力　2.2 kw | | | | | | 衛生室 | |
| | | 暖房能力　2.5 kw | | | | | | | |
| | | 送風機 | | 1 | 200 | 0.010 | L-S | | |
| | | リモートコントローラースイッチ共（室内機） | | | | | | | |
| ACM-4 | 空調機（室外） | 型　式空冷ヒートポンプパッケージ室外機 | 1 | | | | | 屋上 | 型式：RXYP400A |
| | | 冷房能力　40.0 kw | | | | | | | |
| | | 暖房能力　45.0 kw | | | | | | | |
| | | 圧縮機 | | 3 | 200 | 10.60 | L-S | | |
| | | 送風機 | | | | 0.350 | | | |

概要図

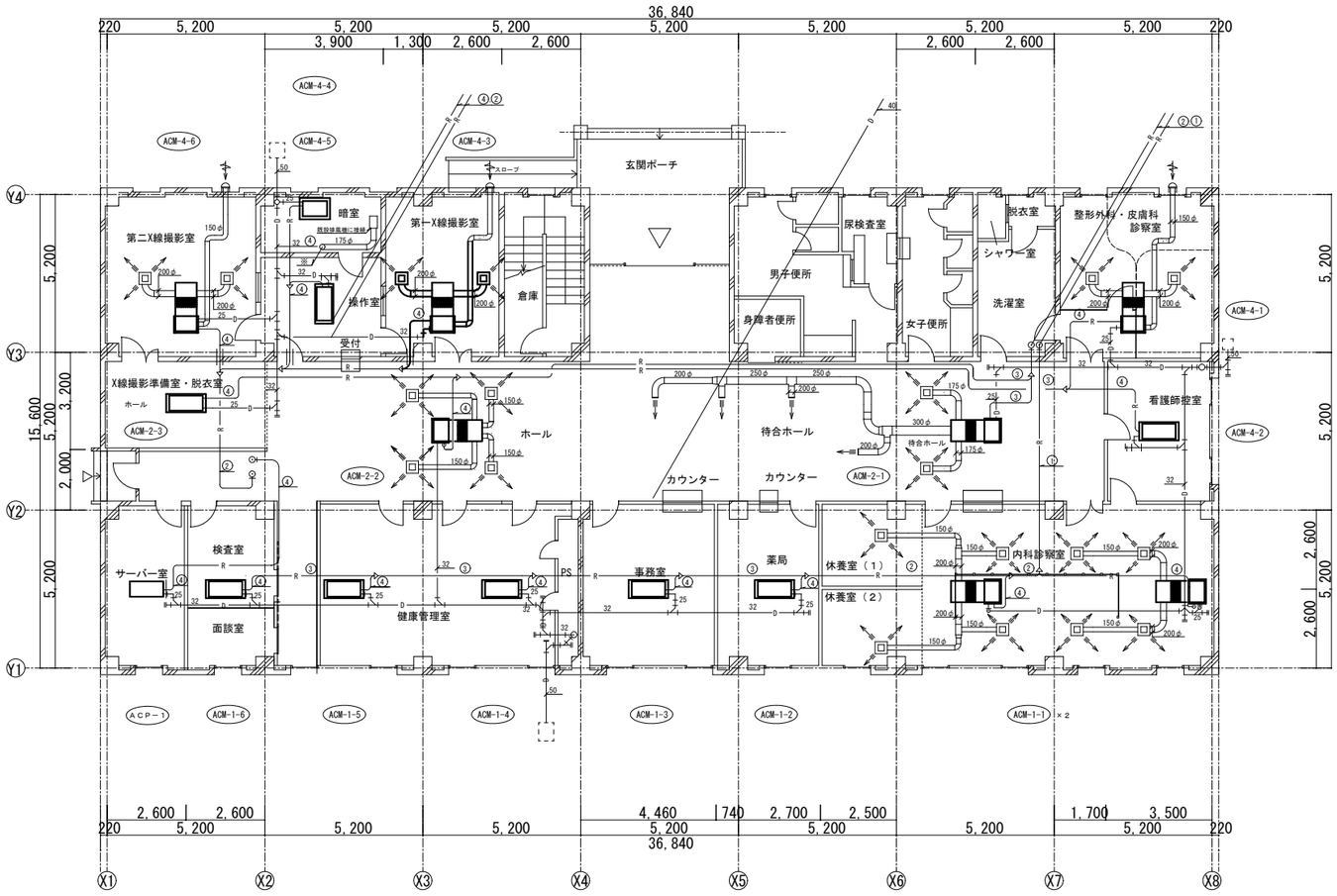
共通事項

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 工事名称<br>東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 施設部 部長 / 課長 見明 / 副課長 戸田 / 係長 / 体長 黒須 / 担当 筋野 | | |
| 図面名称<br>空気調和設備　機器表（2）（撤去） | 縮尺<br>S=N・S（A1） | 年度<br>R８ | 図面番号<br>M-08 | |

凡例

| 記号 | 名称 | 仕様 |
|---|---|---|
| ——— R ——— | 冷媒管 | 冷媒用断熱材被覆銅管 |
| ——— D ——— | ドレン管 | 配管用炭素鋼鋼管（白） |
| ——═—— | 配管貫通処理箇所 | |
| ═══ | スパイラルダクト | 亜鉛鉄板製 |

| 直接撮影室 |
|---|
| 吹出口　$E_2$-20 |
| Q＝360㎥/H |
| BOX：400×400×400 |
| 2個 |

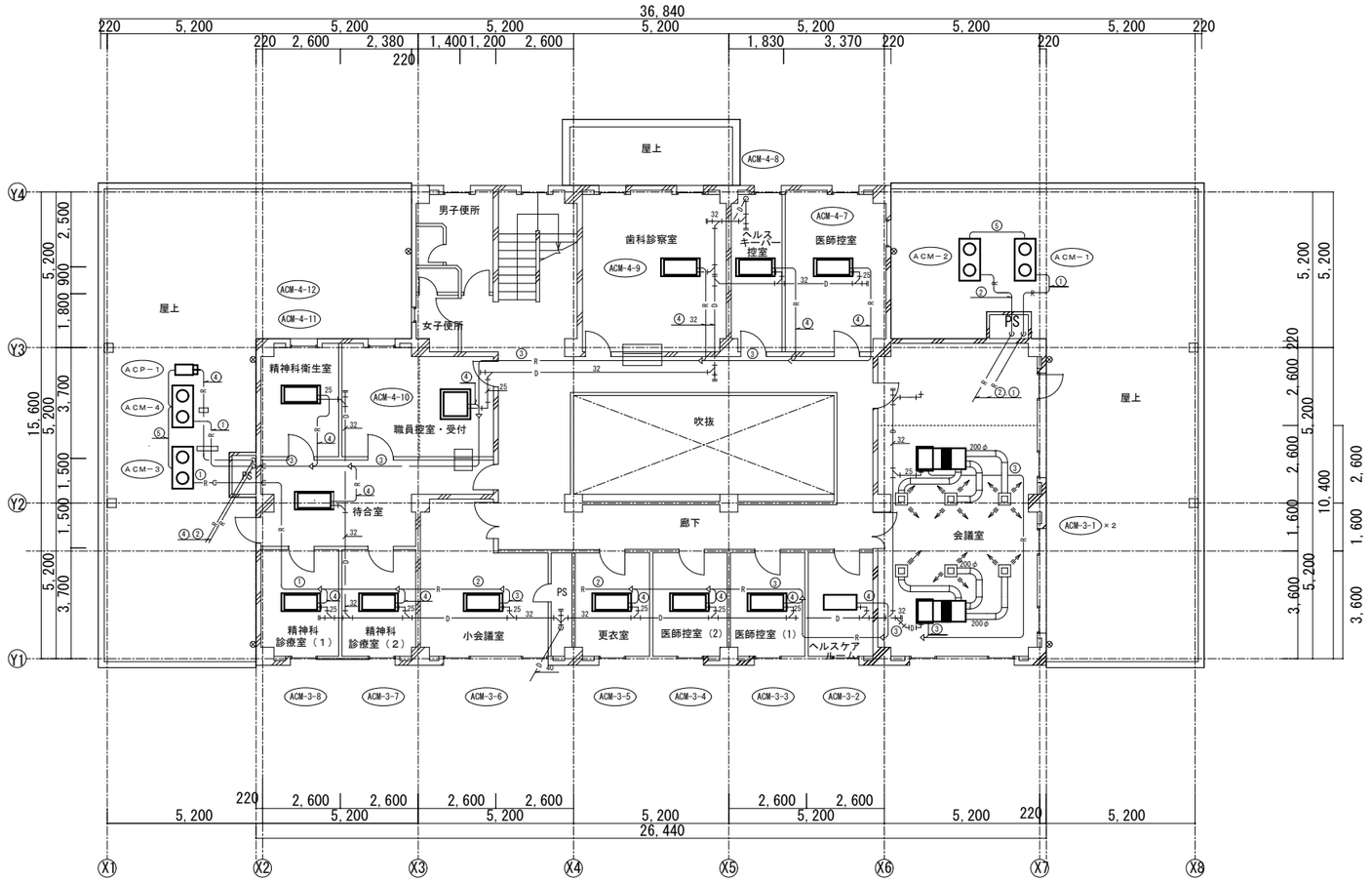



1階平面図　S=1/100

注１）太線は撤去対象を、細線は既設を示す。
　２）　施工範囲の室内について、必要な養生を行うこと。
　３）　天井解体・復旧作業は別途建築工事とする。

概要図

| 共通事項 | 工事名称 | 東京大学 | 東京大学施設部 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事 | THE UNIVERSITY OF TOKYO | 部長 | 課長 見明 | 副課長 戸田 | 係長 黒須 | 担当 筋野 |
| | 図面名称 空気調和設備　1階平面図（撤去図） | 縮尺 S=1/100（A1） | 年度 R８ | 図面番号 M-09 | | | |




２階平面図　S=１/１００

注１）太線は撤去対象を、細線は既設を示す。
　２）　施工範囲の室内について、必要な養生を行うこと。
　３）天井解体・復旧作業は別途建築工事とする。

概要図

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通事項 | 工事名称<br>東京大学（駒場Ⅰ）保健センター空調設備改修工事 | 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO | 東京大学施設部 | | | | |
| | | | 部長 | 課長 | 副課長 | 係長 | 担当 |
| | | | | 見明 | 戸田 | 黒須 | 脇野 |
| | 図面名称<br>空気調和設備　2階平面図（撤去図） | 縮尺<br>S＝1/100（A1） | 年度<br>R８ | 図面番号<br>M-10 | | | |